橋本市人口ビジョンの概要

人口の現状

本市の人口

1999年(平成11年)の71,855人をピークに減少2015年(平成27年)の人口は、65,479人 毎年約550人減少(2010年度から5年間)

●自然動態

約270人/年の減少 (2010年度からの5年平均)

- ·2002年以降減少継続 死亡数が出生数を超過
- ・合計特殊出生率:1.26 国(1.38)、和歌山県(1.46) と比較して低い水準

(2008年から2012年)

- ・希望出生率:1.85と現実と乖離
- ・婚姻率も全国、和歌山県と比較し 低い

●社会動態

約280人/年の減少 (2010年度からの5年平均)

- ·1999年以降減少継続(転出>転入)
- ・15歳から34歳で転出超過傾向
- ・大阪府への転出超過
- ・近隣市から転入超過
- ・転出入の理由は就職等が多い
- ・転入の理由は、通勤通学の利便性、 親・子供の家が近い、故郷である が多い

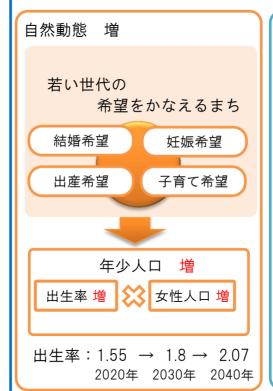
将来人口の推計

2040年には 4万8千人程度(高齢化率:40%) 2060年には 3万4千人程度(高齢化率:44%)

保育・教育、地域経済、福祉・医療など多方面で影響

人口の展望と目指す将来の方向

橋本市の人口: 2060年に 4万7千人程度 の人口を確保し、 「元気なまち 橋本市」を目指す。



生産年齢人口の減少に歯止め



の純移動率を抑制し2035年に均衡 年齢構成のバランスの維持

転出傾向の強い20歳から34歳まで

2040年に5万4千人程度(高齢化率:36%) 2060年に4万7千人程度(高齢化率:32%)